

高等学校教学参考书

日语

第二外语用
第二版

教师参考书

中国人民解放军
图书馆
军医高等专科学校

大连工学院日语教研室

东北工学院日语教研室

侯永桐 关学忠 修订

高等教育出版社



空军医学610 2 0039666 7

高等学校教学参考书

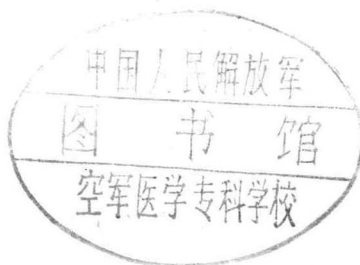
日 语

(第二外语用)

教师参考书

[第二版]

侯永桐 关学忠 修订



高等教育出版社

内 容 提 要

本书是为华南工学院修订的高等学校教材《日语》(第二外语用)[第二版]编写的教师参考书,可供使用该书进行教学的教师参考和使用该书自学日语的同志选用。

这本参考书按照教材的课次分课编写,每课有“教学内容”、“教学目的”、“学时安排”、“教学重点”、“教学参考资料(包括语法补充、单词讲解、参考例句、单词声调等)”、“课文译文”、“练习答案”、“阅读材料译文”等项目。叙述简明扼要,内容切合实际,诚为教师和自学者不可缺少的参考书。

责任编辑 尹学义

高等学校教学参考书

日 语

(第二外语用)

教师参考书

[第二版]

侯永桐 关学忠 修订

*

高等教育出版社出版

新华书店北京发行所发行

河北省香河县印刷厂印装

*

开本 850×1168 1/32 印张 7 字数 175 000

1981年1月第1版 1985年5月第2版 1988年2月第3次印刷

印数 5,951—10,360

ISBN 7-04-001680-X/H·200

定 价 1.40 元

前 言

本书是为华南工学院修订的高等学校教材《日语》(第二外语用)[第二版]一书修订的教师参考书,亦即以教材[第二版]为根据,对大连工学院日语教研室、东北工学院日语教研室所编《日语》(第二外语用)教师参考书的修订本。

原参考书已经使用了四年多,在使用过程中不断收到各方面的宝贵意见。在修订这本参考书时,我们考虑了这些意见,力图把本书修改得更好些。我们的想法是尽量多给教师提供些有益于教学的资料,所以我们把教学重点的叙述等尽量压缩,增加了单词声调,加强了单词讲解,参考例句也尽量结合本课内容,复习、测验要求也都提出参考性意见。但这样也带来一些问题,譬如,结合本课内容例句不好配。自己编写的又难以保证语言的规范性。有的词有两种或两种以上的读法,但为了教学方便,单词声调我们只注了一种比较常用的。参考译文基本直译。这些都有待听取使用同志的意见,进一步提高和修改。

学时安排原教材按150学时计算,考虑到当前实际情况,本书安排的是120~140学时,我们认为这是低限,各校教师可根据本校情况灵活掌握。

本书由华南工学院陈衍光副教授审阅。由于修订者水平有限,加之时间仓促,错误和不当之处在所难免,恳切希望同志们批评指正。

在此向大力支持本书修订工作的同志表示感谢。

修订者

1984.3.

目 录

第一课·····	1	第十六课·····	118
第二课·····	8	第十七课·····	129
第三课·····	13	第十八课·····	140
第四课·····	19	第十九课·····	152
第五课·····	28	第二十课·····	161
第六课·····	37	第二十一课·····	170
第七课·····	44	第二十二课·····	178
第八课·····	51	第二十三课·····	184
第九课·····	58	第二十四课·····	191
第十课·····	66	第二十五课·····	199
第十一课·····	70	第二十六课·····	208
第十二课·····	86	第二十七课·····	216
第十三课·····	96		
第十四课·····	102		
第十五课·····	109		

第 一 课

一、教学内容

语音：字母和发音（1） 清音

二、教学目的

1. 学会 45 个清音字母的书写和读音。
2. 树立学好日语的信心和决心。

三、学时安排

共四学时，分两次进行

第一次：二学时 学习「あ行」——「な行」字母，练习（一）

第二次：二学时 学习「は行」——「わ行」字母，练习（二）

四、教学重点

辨认字母，正确发音，背诵“五十音图”。

五、参考资料

（一）日语的特点

1. 日语是粘着语

世界上的语言按形态分类，一般分为三种类型：孤立语、屈折语和粘着语。象汉语那样，单词没有词形变化，主要靠词序决定单词在句中的语法地位和作用的属于孤立语。象英、俄语那样，单词有词形变化，依靠变化决定单词在句中的语法地位和作用的属于屈折语。日语属于粘着语，单词在句中的语法地位和作用是靠粘着虚词（助词、助动词）来表示的。

如：汉语“课”、“八点钟”、“开始”三个词，按顺序排列起来就成为一个句子：“课八点钟开始”（八点钟开始上课）。日语相当于这三个词的是、授業、八時、始まる。只把这三个单词排列起来，还不

能构成句子,必须附上助词は、に,才能构成句子:“授業は八時に始まる”。就是说必须粘上虚词才能构成句子。因此是粘着语。

2. 日语的词序

一般地说,日语的词序是:

主语——补语——宾语——谓语;修饰语在被修饰语之前。

如:

あの学生は毎日図書館で日本語の本を読む。

定 主 状 补 定 宾 谓

那个学生每天在图书馆看日语书。

与汉语相比,宾语和谓语的位置正好相反,汉语说:读书,日语则为:本を読む。汉语说:写字 日语则为:字を書く。

日语中的补语和宾语,由于粘有助词,所以位置比较灵活。但谓语在句子最后,这一点比较严格。

3. 有词形变化

日语中的动词、形容词、形容动词、助动词有词形变化,但这种变化不象英、俄语那样,以主语的人称、性、数等为转移,而是根据它后边粘着的助词、助动词的要求进行变化。

如:かく かく+ない→かかない 不写

(表示否定)

かく+ます→かきます 写

(表示敬体)

かく+ば→かけば 如果写

(表示假定)

かく+う→かこう 写吧

(表示推量)

4. 有大量的汉字

日语的文字采用汉字和假名混合表記的方式,其中很多汉字我们看得懂,这对我们中国人学日语、阅读日语资料是一个有利的

条件;但,学日语是非下苦功不可的。因为日语的汉字读音难,又有许多汉字的写法和我国汉字的写法不同,另外日语的汉字词,有些词形虽与汉语词相同,但意义却和汉语完全不一样,有些只凭词形,还不能懂其意义。如:汽車/火车;手紙/信;切手/邮票;仕様/规格;…。因此,不能望文主义地乱猜,仍应踏踏实实努力学习,和学习其他外语一样,要逐词认读记忆。

(二)关于假名

1. 假名的形成

日本古代只有语言没有文字。到我国隋唐时代,汉字大量传入日本,日本才开始系统地利用汉字记载自己的语言。最初是把汉字作为表音的符号使用的,即日语有几个音节,就用几个汉字。这些汉字后来逐渐演变成假名(かな)。“假”即“借”,“名”即“字”。只借用汉字的音和形,而不用它的意义,所以叫“假名”。那些直接沿用其音、形、义的汉字叫真名(まな),如:“一日”、“装束”等。这样,一篇文章中并用真名、假名,显得非常混乱。而且假名要借用的同音汉字很多,加上汉字笔划多,用起来很不方便,所以后来就把假名逐渐简化而创造了自己的文字,即现在的“假名”。平假名的あ是由安字演变来的,い是由以字演变来的等等。

2. 假名的发音

日语假名是音节字母,基本上一个假名是一个音节。あ行假名是元音字母,其他假名多是辅音与五个元音相拼而成的音节。假名的读音长度叫“音拍”(简称“拍”)。

3. 假名的写法

假名是由汉字演变来的,所以写法和汉字的书写要领大致相同,即笔顺一般为先上后下,先左后右。平假名象写汉字的草体字那样,有轻有重,有连笔。片假名是楷体。

(三)单词读法

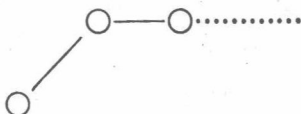
日语单词不象英、俄语那样有重音,但却有声调。这种声调和

汉语的声调也不相同,它发生在几个音节之间,有高低音的变化。这种变化情况很复杂,没有一定的规律,而且其辨义作用很小,没有英、俄语的重音那样重要。如以东京音为标准,一般来说,声调有以下两条基本规律:

1. 一个词或词组的高音只出现在一处,有两拍以上的高音时,高音拍一定连在一起。即不存在“高低高低”、或“低高低高”的读法。

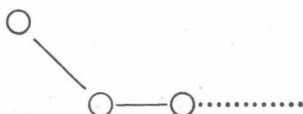
2. 第一拍如果高,第二拍就低,第一拍若低,第二拍必定高。即第一拍和第二拍的高度必定是不同的。归纳起来大致有以下几种形式:

0)型 第一拍低,以下各拍都高。



如 まじめ 低高高

1)型 第一拍高,以下各拍都低。



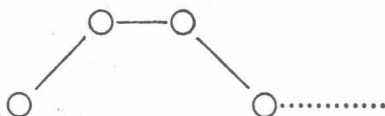
如 だれ 高低

2)型 第二拍高,第一拍和第三拍以下都低。



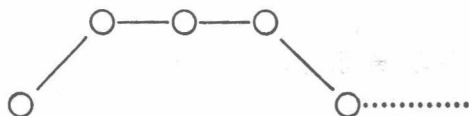
如 みえる 低高低

3)型 第二、三拍高,第一拍和第四拍以下都低。



如 あつまる 低高高低

4) 型 第二、三、四拍高, 第一拍和第五拍以下都低。



如 おもしろい 低高高高低

其余类推。

(四) 本课单词声调(本书根据金田一春彦先生编《明解日本語

アクセント辞典》标注, — 为高音, — 表示后边的为低音)

あう	あおい	あさ	いう
いく	うえ	おく	おそい
かく	きく	けさ	すこし
せかい	アイス	エア	
あした	あたたかい	あなた	あね
あの	いつ	うち	しぬ
すくない	そと	たかい	たいせつ
つくえ	なか	なに	テキスト
いま	おもい	せまい	たてもの
のむ	はなす	はやく	ひく
ひくい	ひと	ふかい	ふく
へや	ほそい	まいにち	みな
め	やすみ	ゆたか	よい
よむ			
あたま	あつまる	あらう	あらわす
ある	あるく	いる	おきる

おしえる	おもしろい	おわる	かりる
かれ	こちら	これ	しる
する	なる	はいる	はやい
みる	みえる	やる	わける
わたし	わるい	クラス	キロ
ワイヤ			

六、练习(单词声调)

(一)之二

いき	えき	しき	せき	あい	あき	あし	あせ
しく	きく	せく	あす	あつ	さす	さつ	たす
たつ							

(二)之二

かな	から	なに	なり	しぬ	しる
あね	あれ	のく	ろく	ゆく	よく
ゆる	よる	ゆるむ	よむ		

第 二 课

一、教学内容

语音:1.字母和发音(2) 浊音、半浊音

2.拼音(1) 拨音

二、教学目的

1. 掌握浊音、半浊音

2. 能拼读拨音音节

三、学时安排

第一次:二学时 浊音字母 20 个,练习一、二浊音部分

第二次:二学时 半浊音、拨音字母,练习三、四、五和练习一、二中的剩余部分

四、教学重点

认读字母,拼读单词。

五、参考资料

(一)拨音的发音

拨音的发音不必讲得过细,只讲清“ん”的发音基本上是“n”就行了,其他情况都是受发音器官的影响而自然形成的。如:

1. 下接バ、パ、マ行字母时,发“m”音

こんばん ぜんぶ はんぶん

アンペア えんぴつ でんぱ

せんもん じんみん にんむ

2. 下接タ、ダ、ナ、ラ或ザ行字母时,发“n”音

かんたん だんだん げんたい

こんな あんな まんなか

うんざん きんぞく べんり

3. 下接カ、ガ、ハ行或少数的词末发“[ŋ]”音

へんか にほんご たくさん

4. 下接サ、ヤ或ワ行字母或在词末时发“N”音

げんそ ひんしつ でんわ

じかん ねだん たいへん

发“[ŋ]”音时,舌根隆起顶住软腭;发“N”音时,舌根提起轻触软腭,气息由口腔和鼻腔同时呼出。

(二)送假名与振假名

1. 送假名

日语词汇有的全用汉字(如“学校”、“化学”等)表示,有的全用假名(如“ここ”、“アンペア”等)表示,还有的用汉字加假名(如“高い”、“行く”等)表示。汉字后边的假名,叫做“送假名”。送假名很重要,通过它能分辨汉字的读音和知道单词的词性、词义等。如:

^{たか} 高い	高的	形容词
^{たか} 高める	提高	动词
^だ 出す	提出	动词
^で 出る	出来, 出去	动词
^い 行く	去	动词
^{おこ} 行なう	进行	动词

但有些词的送假名没有完全固定的标准,如“行なう”一词,也可写作“行う”,字典中一般注为“行(な)う”;“変る”也可写作“変わる”,字典中注为“変(わ)る”。

2. 振假名

为标明汉字读音在其上部(横写时)或右侧(直写时)标注的假名叫做“振假名”,如行なう中的おこ。

(三)本课单词声调(一为高音,一表示后边的为低音)

あげる いそがしい がいくとご

「かがく

しごと

てがみ

ガラス

ゴム

おなじ

かたづける

そくど

だれ

できる

どなた

どれ

ふくぎつ

まど

むずかしい

おぼえる

たとえば

のべる

ぶつり

ベル

タイプ

プラス

ポリエステル

あんな

げんそ

こんばん

せんもん

だんだん

「ご

すぐ

ながれる

キログラム

かぜ

さまざま

だいがく

ちぢむ

でる

どの

はじまる

まじめ

みじかい

ラジオ

くらべる

たべる

ばあい

よぶ

パイプ

プログラム

いちばん

ごはん

じかん

たいへん

てんき

「ご

ちがう

みぎ

グラム

かぞえる

すずしい

だす

でかける

どちら

ともだち

はち

まず

みず

ことば

とぶ

はこぶ

テレビ

「パス

プロペラ

えんぴつ

こな

せんぶ

たくさん

でんわ

「 <u>なん</u>	に <u>ほん</u> で	ね <u>だ</u> ん
は <u>ん</u> ぶん	ひ <u>ん</u> しつ	ま <u>ん</u> な <u>か</u>
ほ <u>ん</u>	よ <u>ん</u>	ら <u>い</u> ね <u>ん</u>
アン <u>ペ</u> ア		

六、练习(单词声调)

二

あ <u>け</u> る	あ <u>げ</u> る	「 <u>か</u> かく	「 <u>か</u> がく
か <u>そ</u> く	か <u>ぞ</u> く	こ <u>こ</u>	ご <u>ご</u>
と <u>こ</u>	ど <u>こ</u>	い <u>た</u> い	い <u>だ</u> い
あ <u>し</u>	あ <u>じ</u>	き <u>く</u>	き <u>ぐ</u>
こ <u>む</u>	ゴ <u>ム</u>		
が <u>い</u> こ <u>く</u>	こ <u>が</u> た	ぎ <u>か</u> い	「 <u>か</u> い <u>ぎ</u>
ぐ <u>あ</u> い	い <u>そ</u> ぐ	げ <u>き</u>	さ <u>さ</u> げ <u>る</u>
ご <u>か</u> ん	か <u>ご</u>		
バ <u>ス</u>	パ <u>ス</u>	「 <u>パ</u> ル <u>ブ</u>	「 <u>パ</u> ル <u>ブ</u>

三

アン <u>ペ</u> ア	「 <u>イ</u> ン <u>キ</u>	う <u>ん</u> ざ <u>ん</u>	か <u>ん</u> た <u>ん</u>
お <u>ん</u> ど	せ <u>ん</u> も <u>ん</u>	げ <u>ん</u> き	じ <u>つ</u> げ <u>ん</u>
ま <u>ん</u> な <u>か</u>	ろ <u>く</u> せ <u>ん</u>	な <u>ん</u>	で <u>ん</u> き
き <u>ん</u> べ <u>ん</u>	す <u>ん</u>	そ <u>ん</u> な	た <u>い</u> へ <u>ん</u>



第三课

一、教学内容

语音:拼音(2) 长音、促音、拗音

二、教学目的

能正确读出长音、促音、拗音

三、学时安排

第一次:二学时 长音、促音 练习二(1、2)、

第二次:二学时 拗音 练习一、二(3、4)、四

四、教学重点

辨认字母,拼读单词,能迅速地读出长音、促音、拗音。

五、参考资料

(一)语音练习材料

1. 数词:

いち に さん し(よ・よん) ご ろく しち (な
な) はち く(きゅう) じゅう じゅういち じゅ
うに じゅうさん じゅうし にじゅう さんじゅう
よんじゅう ごじゅう

2. 语句:

(1) これは(读ワ)なんですか。

这是什么?

それは(读ワ)ほんです。

那是书。

(2) それもほんですか。

那也是书吗?

いいえ、これは(读ワ)ほんではありません。ノートです。

不,这不是书。是笔记本。

(3) これは(读ワ)つくえですか。

这是桌子吗?

はい,そうです。

是,是的。

(4) じゅぎょうを 始めましょう。

开始上课吧。

(5) わかりますか。

明白吗?

はい,わかります。

是,明白。

いいえ,わかりません。

不,不明白。

(6) もう いちど(いってください)。

再(说)一遍。

(7) (しつもん)に)こたえてください。

请回答(问题)。

(8) けっこうです。 好。

だめです。 不好。

(9) すこし やすみなさい。 稍微休息一下。

(二)语音复习提纲:

1. 按行、按段背诵五十音图。
2. 按行默写清音、浊音、半浊音、拨音字母(用平假名、片假名)。
3. 什么是长音? 怎样表示? 试举二例说明。
4. 试举例说明拨音的发音特点。